

アナタが変われば、クラスは変わる…

(傍観者)



1日に2500人以上が訪れる人気サイトをドラマ化!!

いじめと戦おう!

～私たちにできること～

小学生篇



本作について

連日いじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。その中で、いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかを知っておくことは、現代に生きる小学生児童にとって必要な事と言えます。

本教材は鑑賞した児童がいじめの、当事者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。またクラスの大多数を占めるであろう傍観者が如何にして“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめ問題全体について話し合うために活用頂きます。

手引書付き

上映時間21分 [C#2614]

DVD 69,300円(本体66,000円)

※消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。

中学生向けの姉妹編もあります

いじめと戦おう!

～もしもあの日に戻れたら～

原案：「いじめと戦おう!」

ホームページ「いじめと戦おう!～対策と克服法～」は、一日に2,500人以上が訪れる人気サイト。いじめの被害者や経験者が投稿する体験談や情報などの生の声が掲載されている。2011年には書籍も小学館から出版され、全国学校図書館協議会選定図書にもなっている。



監修：玉間伸啓

本作の原案、ホームページ「いじめと戦おう!～対策と克服法～」内に相談される、いじめの被害者や経験者からの相談に懇切丁寧に応える管理人。現在は各種マスコミのいじめ特集への寄稿や講演活動等で“生のいじめの現場”の声を伝えている。

“いじめの図式”を崩す=それは“いじめと戦う”新しいカタチ

(加害者、被害者、傍観者)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

http://www.toei.co.jp/edu/

いじめと戦おう! ~私たちにできること~

プロデューサー 中鉢裕幸 岡部圭一郎 安西志麻
監督・脚本 竹藤恵一郎
撮影 杉浦誠

制作協力 株式会社オフィス・シマ
企画・制作 東映株式会社 教育映像部

あらすじ



—いじめの発生—

小学6年生のひなたのクラスで、ある日事件が起こる。さくらのくしゃみが由衣の背中にかかってしまったのだ。さくらをバイキン扱いして逃げ回る由衣と、ハンカチで拭いてあげようとするさくらの追いかけてこでクラス全体が盛り上がるが、この事をきっかけに徐々にクラスの様子がおかしくなっていく。

ひなた「初めは、ちょっとふざけてただけなんです・・・」

—ターゲットになってしまったさくら—

その日から由衣たちによる、さくらへのいじめが始まった。無視、教科書への落書き、バイキンごっこ・・・徐々にいじめがエスカレートしていく。ひなたは友人の明日香やさくらの親友・菜々子に、いじめを傍観していることについて非難されてしまう。

菜々子「だまって見てるの？それって一緒にいじめてるのと同じじゃん！」



—真夜中の悪夢—

ある夜、ひなたはクラスのバイキン係に選ばれるという悪夢を見て目を覚ます。夢で良かったとほっとすると同時に、さくらの気持ちはこの悪夢と同じだと気が付くひなた。いじめの現場を見ながら、当事者の気持ちを考えることのできなかつたひなたは、同じピアノ教室に通う高校生の勝田に相談してみる。

ひなた「じゃあ、さくらちゃんはどんな気持ちなの？」

—信頼できる人に相談すること—

ひなたが勇気を持って相談すると、勝田は以前自身がいじめられていた過去を教えてくれた。またそんな勝田を救ってくれた友達の話も。憧れの勝田がいじめられていたという事に驚きながらも、ひなたはいじめの傍観者だった自分に何ができるのか考えはじめる。

勝田「まずは行動してみようよ。ひなたちゃんのできる範囲でいいんだから。」



—私たちにできること—

勝田のアドバイスを一人ではなかなか実践できない事に気付いたひなたは、明日香・菜々子にも相談してみる。直接いじめっ子である由衣に注意するのは勇気がある、でも一人では難しくてもみんなが行動に移せば、出来ることも増えていく。大事なことは“いじめの図式”を崩すこと。さっそく行動を開始するひなたたち。

菜々子「作戦？」 ひなた「そう、私たちにできる作戦！」

—勇気を持つということ—

ひなたたちの行動をきっかけに、クラスの雰囲気も変わってきた。徐々にさくらにも笑顔が増えてきたようだ。このまま平穏な日々が続けば、ひなたがそう思っていたある日、またもさくらを由衣たちの嫌がらせが襲い、盛り上がるクラス。やはり断ち切れないのか、そこでひなたは以前から考えていたある行動をとってクラスを変えようとするが・・・

ひなた「先生、私このクラスをいじめのないクラスにしたい！」



学習のねらい

- 自分のクラスに、“いじめの芽”となっている事象がないか、クラスで話しあってみる。
- いじめに悩む人の気持ちを想像させ、いじめを防ぐ為にはどうすれば良いのか、自らはいじめっ子・いじめられっ子に対してどう行動が取れるのか自らの問題として考える。

監修者のコメント

「いじめと戦おう!」ホームページ管理人 玉間伸啓氏

いじめっ子は、周囲の児童を楽しませようと、いじている事が多いのです。そして周囲の児童は「自分たちは笑ってるだけ」だと思いがちです。そういったクラスの構図の危険性や、いじめを防ぐためのヒントがこのドラマを見てもらえれば分かります。

是非、児童のみなさんと話し合ってみてください。

